



図4 計算された、1900年から2100年までの日本の領域で平均した夏季(6・7・8月)の平均気温(2001年以降についてはシナリオ「A1B」を用いた結果)。黒線が年々の値で、赤線が10年移動平均を施したもの。2071~2100年の年々のゆらぎの標準偏差は0.52で(黄色)、1971~2000年の標準偏差(水色)0.54と比較して大きくない。都市化の影響は考慮されていない。